

環境へのさまざまな取り組みの成果も

少しずつ、実を結びはじめています

■「第17回環境コミュニケーション大賞」ダブル受賞の初快挙!!



環境報告書部門：環境報告大賞（環境大臣賞）
テレビ環境CM部門：優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

牧原環境大臣政務官から大道頭取に表彰状が贈られました

平成25年10月に発行した「CSRレポート2013 歩みを、共に。」が「第17回環境コミュニケーション大賞（主催：環境省、一般財団法人 地球・人間環境フォーラム）」で、環境報告書部門で最高位の「環境報告大賞」を、平成25年7月より放映しているテレビCM「ニゴロブナ・ワタカ放流」篇がテレビ環境CM部門で「優秀賞」を受賞しました。本賞での受賞は4回目ですが、ダブル受賞は初めてです。



CMの一コマ

■ 高等学校「現代倫理」の教科書に 当行のCSR活動が掲載

株式会社清水書院が平成26年2月に発行した高等学校「現代倫理」の教科書に「企業による社会貢献活動」の事例として、当行の環境保全活動や「環境金融」への取り組みが掲載されました。



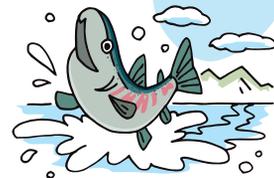
■ 企業による社会貢献活動（公益活動の枠を超えて環境保全活動を行う銀行員）
この銀行では、役職員が地域の環境保全活動に取り組んでいる。

また、銀行の本業である金融を通じて、環境保全事業への融資や、定款等に学校の環境学習への支援を組み込んだ製品の開発などを行っている。これらの社会貢献活動は、近江商人の精神を受け継ごうとするものであるという。近江商人の精神とは「売り手よし、買い手よし、世間よし」の「三方よし」といわれるもので、商売とは売り手の利益だけでなく買い手の利益にもなり、さらに社会の利益にもなるべきであるという理念である。（日本の商業道徳について-p.97 臼田梅初氏の提唱）

組みの成果も

ていまして

■ 役職員約600名の ビワマス遡上プロジェクト



創立80周年記念事業「いきものがたりプロジェクト」として、琵琶湖の固有種で準絶滅危惧種のビワマスを、約600名の役職員が卵から育て、米原市天野川支流に放流する「ビワマス遡上プロジェクト」を実施しました。「生物多様性保全と食文化を守る」との観点から、米原市などと協働で取り組んだものです。

平成26年3月16日（日）の放流式では地元の皆さんとともに総勢450名で約12,000匹のビワマスの稚魚を放流しました。



ビワマス 成長日記



しがぎんグループ

平成25年11月上旬



醒井養鱒場から
受精卵3,000個を購入。
各職場に配付しました。

平成25年12月下旬



各家庭の冷蔵庫で
ペットボトルに入れて
育てました。

平成26年1月下旬～3月上旬



大きく育った稚魚たち!
愛情たっぷり育てた
稚魚に名前をつける
職員もいました。

平成26年3月16日(日)



「カムバック ビワサーモン!」
「大きくなって帰ってきてね!!」と
約12,000匹の稚魚を放流しました。